

# 令和7年度 渋谷区立笹塚中学校吹奏楽部 11月予定表

11月

年間目標 『明るく仲良く心に響く音楽を』

2025/10/22



日	曜時程	行事 黒=全校・赤=3年・青=2年・緑=1年	時間	備考
1	土	東京都教育の日 区民の広場パレード	★	詳細は別紙
2	日		×	
3	月	文化の日 定期考查 1週間前	×	
4	火 6	全校朝礼・安全指導 ⑥My 探究(1,2年)	×	
5	水 5	学年会(1,2年)	×	
6	木 6	進路相談終(3)	×	
7	金 特4	後期中間考查(3のみ)	×	
8	土		×	
9	日		×	
10	月 特2	後期中間考查始	×	
11	火 特4	後期中間考查終	-16:00	再登校なし
12	水 5	英検IBA 避難訓練 専門委員会14:45~	×	自主練可
13	木 6	歯科検診(8:45~) ⑥My 探究 評議会15:45~	-18:00	
14	金 6	D級ポンプ訓練(1)	-18:00	
15	土		9:00-13:00	
16	日	笹幡フェスティバル・ 地域探究(2)	×	
17	月 6	あいさつキャンペーン始 2年振替休業日	-18:00	
18	火 特3	渋中研一斎研究授業 TLD⑫ 素点〆切	×	自主練不可
19	水 5	素点表配布 TLD⑬職員会議・校内研修	×	自主練可ただし再登校
20	木 6	⑥My 探究	-18:00	
21	金 6	⑥My 探究	-18:00	
22	土		9:00-13:00	
23	日	勤労感謝の日	×	
24	月	振替休日	×	
25	火 6	生徒朝礼 ⑥My 探究 進路評定〆切	-18:00	
26	水 5	学年会	×	自主練可
27	木 6		-18:00	
28	金 6	⑥3年学年会(査定会)	-18:00	
29	土	地区総合防災訓練(笹塚小)	9:00-13:00	
30	日		×	PM: アンコン説明会

新体制が決まりました

部長: 永田彩乃

副部長: 界遥稀・吉田晴音  
岩月多恵・中井来海

木管リーダー: 小林颯葉

金管リーダー: 遠山葵

打楽器リーダー: 岡崎留樹杏

○冬休み中の部活について○

12/26(金) 9:00~13:00

/27(土)

1/5(月)

/6(火)

/7(水) 午後になるかも

★アンコンメンバーはなるべく参加

★家庭の都合で欠席する場合は必ず申請する

~今後の予定~

★11/1(土)くみんの広場フェスティバル @代々木公園

♪学年天国 ♪ケセラセラ

★12/20(土)クリスマスコンサート @大体育馆

♪クリスマスマドラー ♪アンサンブル 他

★1/24(土)or/25(日)アンサンブルコンテスト@床

♪ピーコック・ブルー (管楽6重奏)



アンサンブルの作り方: 広瀬勇人「演奏の整理」

●合わせのポイントを意識すれば演奏は変わる!

★音の「入り」

曲の頭や各フレーズの開始音・テンポの変わり目など、ほとんどの場合は「何となく」「無意識に」タテが合ってしまうのですが、実際には木管も金管も最初の音の運指や音域によっては「音の立ち上がり」が一時的に遅くなってしまい、その結果、微妙にタテがズレるというケースが一曲の中であちこちのパートに見られます。「入り」を合わせる意識を持つだけで、これらの微妙なズレを大幅に減らすことが出来るでしょう。

《低音楽器の注意点》

特に低音楽器はもともと管が長いため、普通に吹くと「音の立ち上がり」が中高音楽器よりもほんの0.1秒遅くなってしまいます。低音楽器の人は、楽器を構えてプレスを取ってテンポ通りのタイミングで楽器を鳴らす、というルーティン作業を、速いテンポでも遅いテンポでも、どの音域でも同じ様に吹ける様、研究してみると良いでしょう。

《打楽器の注意点》

逆に打楽器は叩くとすぐ音が出てしまうので、管楽器とのアンサンブルでは0.1秒先に音を出してしまうというのをよく見かけます。管楽器と一緒にアンサンブルをする際は、一緒にプレスを取ってほんの少しだけ溜めてから音を出すと、ピタッと開始音が合うことが多いので、普段の合わせから意識して練習すると良いでしょう。

★音の「切り」

複数パートで同じ長さの音を伸ばしている場合(和音の伸ばし、旋律とそのハモリのフレーズ最後の音など)、切るタイミングが合っていないと締まりのない演奏に聴こえてしまいます。

時々スコアを読み返し、「音の切り」を意識した方が良い場所・合わせる相手をパート譜にメモしておくと、合わせの際にもお互い意識をして、切るタイミングを揃えることが出来るでしょう。

★プレスの場所

「プレスを取る」という作業には「演奏前に息を補給する」「なくなった息を補充する」と同時に、「ここでフレーズが切れる」という、音楽の捉え方を示す重要な意味合いがあります。

複数パートで同じ旋律を同時に演奏する場合はプレスの場所を統一し、その旋律がその後2回、3回と連続して続く場合は、フレーズの同じ場所でプレスを取る様にすると、音楽に説得力が生まれるでしょう。

また、息の関係でフレーズ途中にやむを得ずプレスを取る場合は、フレーズが切れている様に聴こえない様、短いプレスを取ることを普段から意識しておきましょう。

★音の形

音には「形」があり、「アタック・コア・リリース」という3つの要素から出来ています。

「アタック」…音を開始する際のタンギングの強さ

「コア」…楽器を鳴らしている際の音の長さや太さ

「リリース」…音を切る際の処理の仕方(ブツッと切れる、丸く切れる、徐々に切れるなど)

これら3つの要素を意識し調整することで、音の形を揃えることが出来ます。音符に「スタッカート」や「テヌート」「マルカート」「レガート」といったアーティキュレーションの指示がある場合は自然と「音の形」も揃うのですが、例えば複数のパートに4分音符が同時に出てきて音符に何も書かれていない場面では、「音の形」を意識しないと音の長さやタンギングの強さなどが人によって異なり、なかなかアンサンブルが揃って聴こえません。

# 令和7年度 渋谷区立笹塚中学校吹奏楽部 12月予定表

12月 年間目標

« 明るく仲良く心に響く音楽を »



2025/10/22

日	曜時程	行事 黒=全校・赤=3年・青=2年・緑=1年	時間	備考
1	月 特4	第三者面談始	-18:00	
2	火 特4		-18:00	
3	水 特4		×	自主練可
4	木 特4		-18:00	
5	金 特4	第三者面談終	-18:00	
6	土		9:00-13:00	
7	日		×	
8	月 6	全校朝礼・安全指導	-18:00	
9	火 6	⑥My探究	-18:00	
10	水 5	専門委員会14:45~	×	自主練可
11	木 6	JOCオリンピック教室(2) 2-1③④2-2⑤⑥ 評議会15:45~	-18:00	
12	金 6	⑥My探究	-18:00	
13	土		9:00-13:00	
14	日		×	
15	月 6	生徒朝礼 ⑥My探究(中間報告会)	-18:00	
16	火 6	中学校音楽鑑賞教室(2) ⑥My探究(1,3年)	-18:00	
17	水 5	区探究フェス(3)	-18:00	本番前なのであります。 なるべく都合をつけてください。
18	木 6	校外学習事前指導(2) 避難訓練	-18:00	
19	金 6	校外学習(2)	-18:00	基本的に1年のみ
20	土	★彌	X'masコンサート	クリスマスツリー
21	日		×	
22	月 6	⑥My探究	-18:00	
23	火 6	⑥My探究	-18:00	
24	水 5	学年会	×	
25	木 特5	ボウリング教室(2) 全校集会 給食終 一斉清掃 TLD④職員打合せ	-18:00	再登校になるかも?
26	金		9:00-13:00	アンコンに向けて猛特訓!
27	土		9:00-13:00	アンコンに向けて猛特訓!
28	日		×	
29	月	学校閉庁日	×	今年もお世話になりました 来年もよろしくお願ひいたします
30	火	学校閉庁日	×	よい年をお迎えください!
31	水	学校閉庁日	×	

## 保護者の皆様

日頃より吹奏楽部の活動に、ご理解・ご協力をいただきありがとうございます。部員たちは、コンクール以降かなり厳しいスケジュールの中、多い曲数と顧問の無茶ぶりにも耐え、先日の学芸発表会では見事会場を巻きこんだ楽しい空間を作り出し、吹奏楽部の底力を發揮する演奏をしてくれました。3年生はこれで仮引退となります。ここまで吹奏楽部を引っ張ってくれ、そして次の世代へと繋いでくれて本当に感謝です。スプリングコンサートも一緒に出してくれるとのことなので、1・2年生はそれまでに基礎・表現ともにパワーアップし大成長した演奏を目指します。

これからも一番近くで応援してくださる保護者の皆様に演奏を楽しんでいけるよう、顧問・部員一同努力して参ります! 今後ともよろしくお願ひいたします。

## ~ 今後の予定 ~

★11/1(土)くみんの広場フェスティバル @代々木公園

♪学年天国 ♪ケセラセラ

★12/20(土)クリスマスコンサート @大体育館

♪クリスマスマドラー ♪アンサンブル 他

★1/24(土)or/25(日)アンサンブルコンテスト@府中の森

♪ピーコック・ブルー (管楽6重奏)

★3/28or/29スプリングコンサート @大体育館

未定



## アンサンブルの作り方: 広瀬勇人「演奏の整理」

●合わせのポイントを意識すれば演奏は変わる!(つづき)

★クレッセンド・ディミヌエンドの「開始場所」と「到達点」

曲の中でクレッセンド・ディミヌエンドが複数のパートに書かれてあった場合、それぞれを何となく → するのではなく、○小節目の○拍目から → する、という風に具体的に「開始場所」を決めておくと良いでしょう。音量の増減に一体感が出て、より演奏効果の高い → となります。

また例えば、全音符で「f」が書かれた音に → が書いてある場合、「どこまで小さくするか」を決めておかないと、「mf」まで落とす人、「mp」「p」まで落とす人など、「到達点」の音量にバラつきが出てしまうので、合わせの際に決めておきましょう。

## ★三和音のバランス

「三和音」のハーモニーを演奏する際、「主音>第5音>第3音」という音量バランスで演奏すると、和音の倍音が安定してハーモニーパートに一体感が出て来ます。

曲まるまる、すべての和音を分析するのは難しいですが、曲の頭や、オーケストレーションが薄い場面など、和音が目立つ場面ではスコアでコードを分析してみて、特に第3音を吹く場合は少し音量を抑え目に演奏すると、和音の響きがより心地よく聴こえるでしょう。

## ★役割の整理と適切な音量バランス

これは第3回「楽曲の理解」で見た通りです。役割通りの音量バランスで演奏出来ているかどうか、常に意識しながら合わせを行いましょう。

(時々自分たちの演奏を録音し、客観的に演奏をチェックすると、「ここはもっとこうした方が良い」という修正ポイントが見えてくると思います。)

## ●人の心を動かす、良い演奏とは

ここに掲載した合わせのポイントはごく一部ですが、これら以外にも自分たちで「こんなことを意識したらどうだろう」といったアイディアを出し合って、アンサンブルの精度を高めていくと良いでしょう。

自分たちでは想いのこもった良い演奏をしているつもりでも、第三者が客観的に聴くとアンサンブルの乱れの方に耳が行き、聴いていて気持ちが入り込めない演奏となっていることがよくあります。

「音を揃える」だけでは人に感動を与える演奏にはなりませんが、アンサンブルの土台がしっかりとすると「音楽」そのものがスッと聴く人の心に入ってくるので、そこに演奏者の気持ちも乗ることで人を感動させる演奏になるのではないか、と思います。